

てんねん りょうこう
天然の良港ゆらちく まちな
由良地区の町並み

所在地：洲本市 由良



「漁師町」洲本市 川添卓也氏撮影（第1回淡路島景観フォトコンテスト応募作品）



由良地区の町並み



由良地区内の船着場

大阪湾や瀬戸内の要衝である由良は、慶長18年（1613）に池田忠雄の成山城築城を始まりに、城下町として栄えました。しかし寛永8年（1631）からの「由良引け」（由良城から洲本城への、城下町ごとの大移転）により、城下町としてはさびれていきました。

その一方で、参勤交代の際の寄港地として発展し、江戸時代には新川口と今川口の2つの港口が造られました。今川口は藩主蜂須賀公の御座船を通すために拡張され、現在の由良港の姿になりました。由良港は、好漁場である紀淡海峡に面し、成ヶ島が長大な防波堤の役割を果たす天然の良港として、兵庫県内有数の漁獲高を誇り、特にウニ、アワビ、ハモなどが有名です。

港の背後には由良の集落が控え、瓦屋根と路地の町並みに、今も変わらぬ漁師町の景観を見ることができます。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
 - ✓ 歴史がつくりだす景観
 - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路自動車道洲本ICから国道28号、県道76号を南下。車で30分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図